



ふるえがお



古江小 HP QR コード



令和7年3月5日

松江市立古江小学校学校だより（文責 校長：青山 巧）

心がほっこりする6年生を送る会でした

2月27日に6年生を送る会を開催しました。当初は21日（金）に予定をしていましたが、気温が低く、体調を崩している児童も少なからずいたこともあり、延期をしての実施でした。その際には保護者の皆様への連絡が不十分でご迷惑をおかけし、大変申し訳ありませんでした。

この日のために、5年生は実行委員会を中心に各担当に分かれて、授業時間だけでなく休み時間も使うなど、相当な時間をかけて準備をしてきました。もちろん、1～4年生も歌、呼びかけ、対決（雑巾がけリレー、綱引き）プレゼント、クイズ、ダンスなど、それぞれが趣向を凝らし、6年生に感謝の気持ちを伝えるよう心を込めた発表でした。5年生が準備をした思い出のアルバムでは、6年生の入学時からの6年間でスクリーンに映し出されると大盛り上がり。あどけなさが残る低学年のスライドでは、笑いも起きていました。

1年前に、6年生を送る会を企画・運営してから、学校のリーダーとして活躍してくれた6年生。目を見張る成長をし、学校を引っ張っていった姿は、在校生にもしっかり伝えています。今日の6年生を送る会でも、在校生の頑張っている姿を応援し、盛り上げてくれた心優しい6年生。きっと古江小学校の文化として今後も引き継がれていくと信じています。



なかよし班のみ
みんなでクイズの答
えを考えました。



箱の中身はなん
でしょう？ 難問
でしたね。



退場は在校生全員で花
道をつくって、6年生に
通ってもらいました。

第3回学校運営協議会報告

2月28日に本年度最後の学校運営協議会を開催し、学校評価を中心に、今年度1年間の学校経営についてご意見やご助言、感想をいただきました。

○学校評価について

①豊かな心の育成：すべて高評価であり、十分にやっていたいでいる。こどもたちもとても穏やかに落ち着いて生活をしている。家庭内のコミュニケーションも大事。こどもの言葉に耳を傾けて聴く大人の姿が重要。

②確かな学力の育成：対話力については、まず語彙を増やしていくことが大事。それから話し言葉で伝えていく力をつけ、自分の言葉で語れる場を確保する。

読書については、学校での取組を家庭でも広がっていくようにさらに工夫が必要である。

③健やかな体の育成：昔からの伝承遊びなどは効果的である。寿会の方も元気をもらっている。低学年で朝の時間を使って行っている「かしこい体づくり」を継続する。

○次年度の学校運営の基本方針について

継続して「はじめにこどもありき」の経営理念で取り組んでほしい。

○ご意見等

- ・すまいる教室が、教室に入りづらいこどもたちの居場所になっている。エネルギーをためる大切な場所と思う。
- ・一定期間内に計画的に課題を提出するというやり方で、こどもに見通しをもったスケジューリングを教えることは、社会に出た時に必要な力をつけてもらっているように感じる。
- ・学校運営協議会を通して、地域の方にたくさんかかわっていただいていることがわかった。本当にありがたいことである。
- ・地域行事等を通して、こどもたちと地域の大人が顔見知りの関係になることを広げていきたい。

6名の委員の皆様には、この1年間様々な学校行事に足を運んでいただくとともに、地域においてもこどもたちの活動の場をたくさんつくっていただきました。古江のこどもたちの健やかな成長を願い、陰に陽に支えてくださっていることに改めて感謝申し上げます。

学校評価については、保護者の皆様には別途お伝えします。

うれしい言葉

3月3日延期になっていたストーリーテリングを行いました。2校時に6年生が終わってから、主宰者の方が校長室に来られ、開口一番「6年生の聴く姿勢がとても素晴らしかったです。」と報告に来てくださいました。昨年度も同じこどもたちに語ってくださった方は、この1年間の成長をととても驚き、喜んでくださいました。

保護者や地域の方に褒めていただくのとは別に、外部の方にも6年生の成長・変容を認めていただけたということが何よりの喜びでした。

3日にブラインドサッカー大会があり、Voとして参加しました。というのも昨年度古江小に来ていただいた島根オロチビート浜田が参加されたからです。全く見えない中で、ガイドやゴールキーパーの的確で端的な指示、どう言えようまく伝わるのかという工夫を目にし、日頃の自分が伝えるではなく、しゃべるという意識であったことを反省しました。